

人権教育・啓発に係る施策を点検・評価する「視点」(案)

京都市人権教育・啓発施策推進懇話会(第1回)における意見(要旨)

全 般

評価が総じてあいまい。
事業の結果(成果)や問題点と課題を検証できるよう、具体的に提示されたい。

研修事業

現地研修が重要と考えるがどうか。
ワークショップをもっと導入してもらいたい。
特定職業従事者に対する評価をきめ細かく。意識調査を一定周期で行うことも含めて、具体的な評価方法を模索されたい。
人権教育・啓発事業にかかわった職員の意識がどのように変わったのか。

施策を評価・検証する「視点」の設定

考 え 方

第2回懇話会では、前回、委員から具体的に示唆いただいた研修事業について評価・検証する「視点」の案を提示し、さらに意見をいただく。
その他の事業については、次回懇話会以降の意見を踏まえて検討を進める。

「視点」(案)

1 研修テーマの設定・手法の選択・参加状況が適切かどうか。

〔検討事項〕

研修の対象者、目的、テーマ設定・手法選択の理由等(必要に応じて過去の状況等) 研修対象者数、研修受研者の選定方法、最近の受研者の状況等
研修企画に当たり困難であった点について

2 どのような手法で受研者の理解認識度・ニーズを把握しているか。

〔検討事項〕

受研者アンケートの実施状況・内容等

3 どのような研修効果があったか。

〔検討事項〕

計画に対する達成状況はどうであったか。
研修効果の状況はどうであったか。
指導的人材の養成を目的とする研修については、成果を職場や府民に還元できているかどうか等。